

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	にじいろキッズらいふ若里東		
○保護者評価実施期間	令和7年12月5日		～ 令和7年12月25日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	23	(回答者数) 14
○従業者評価実施期間	令和7年12月1日		～ 令和7年12月12日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	9	(回答者数) 9
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年3月5日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・3ヶ月毎、曜日ごとに活動内容を変え、子どもたちが様々な活動にチャレンジできる内容にしている。	・児童発達支援センターににじいろキッズらいふの中核機能を活用し、専門職によるモニタリングに入ってもらい、活動の流れや子どもへの対応などを見てもらっている。その内容についてはカンファレンスでこどもに関わる全従業員で共有している。	・専門職とのカンファレンス以外の日常の中で支援内容の共有を図る時間を積極的に作っていく。
2	・法人のスケールメリットを活かした活動や長期休みに外出活動などで様々な体験を提供している。	・設備面で制約はあるが法人内の他事業所のスペースを活用することができたり、地域の資源を活用した取組を行っている。	・土曜日の活動に日々の取組を活かした内容を盛り込み、より楽しさが増えるような活動を提供していく。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	設備の老朽化が顕在化してきている。	賃借物件であり、既設されていた設備をそのまま使用しており、その設備が耐用年数を超えてきたことが要因。	設備の改修について計画的に実施していく。
2	制度など必要最低限理解しておくべきことが浸透していない。	日々の支援業務に追われ、共通理解をする場の設定が取れないことが要因。	定期的な会議を設定し、共通理解をする場を設ける。